

木葉小便り

令和5年7月19日(水)発行

文責 校長 吉野 新吾



田植え(6/26)より

「？」は「！」のもと。

今年も校長室前に、自由に触れるように“おじぎ草”を置いています。今年は、児童玄関前にプランターも置いてみました。

「おもしろいね。」「不思議だね。」「何でだろう?」と言いながら触っていきます。「どれくらいすると戻るかな?」と観察を始める子もいます。「去年の種からだよ」と伝えると「すごい!」と感動してくれる子もいます。

子供たちの知的好奇心を刺激していることが分かります。夏休みに入ります。観察、読書、旅など長い休みにしかできないことを家族で話し合ってみませんか?



「おじぎ草」です。
はっぱに やさしく
さわってみてください。

“賢くなり、自信のつくところ”になっていますか?

「学校とは、子供が賢くなり、自信のつくところでなければならない」という信念のもと、学校経営を進めています。1年生が日に日に木葉小学校の生活に慣れて元気に過ごす姿、2年生は1年生の先輩として手本になろうとする姿、2階に教室を移し生活科から社会・理科・総合的な学習の時間をスタートした3年生の姿、4、5、6年生が運動会を経験しながら上級生として成長していく姿を感じられるようになった前期前半でした。

平成5年度の木葉小学校は、素晴らしい子供たち、職員、保護者、地域のおかげで、玉名教育事務所がスローガンに掲げる「瞳輝く子供」「凜とした教職員」「伸びる学校」に向かって、前進していることを実感しています。



みんなで学び合う授業(6年生)



ひきざんもできるようになりました(1年生)

先生たちの 夏休みは?

「先生たちは、夏休み 何しよっとですか?」とよく聞かれます。どうやら 子供たち同様、40日間のオフと思っているらしいのです。夏の休暇(お盆休み等)はありますが、基本平常勤務です。子供たちの登校がない分、少々のゆとりはありますが、研修・会議・打ち合わせ等が詰まっています。夏の休暇が取りきれない職員もいるほどです。ということで、職員は、保護者同様 夏休み中も仕事があるのです。

